

健康すいた 21（第 2 次）及び保健事業について

1 「健康すいた 21（第 2 次）」

健康増進法に基づく「吹田市健康増進計画」と、食育基本法に基づく「吹田市食育推進計画」、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づく「吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画」の 3 計画を統合し「健康すいた 21（第 2 次）」として平成 28 年 3 月に策定しました。

「健康すいた 21」（第 2 次）の重点項目に挙げられている「栄養・食生活」、「たばこ」、「運動・身体活動」、「健康管理」について、市、関係機関、地域団体などの実践的な取組について検討していきます。

※「健康すいた 21（第 2 次）」ダイジェスト版については、別添しています。

2 すいた健康サポーター事業

「健康すいた 21」（第 2 次）の基本方針である、「地域社会による積極的な健康づくりの支援」として、地区福祉委員会の委員や一般公募の市民を対象に、阪大、国循などの教授や保健センター保健師等による連続講義を、平成 27 年度は全 5 回実施しました。

健康づくりについて学んだ市民は「すいた健康サポーター」として認定し、自らの健診受診や生活習慣の見直しに努めるとともに、家族や友人等に健康づくり活動を啓発や、地域活動等において健診の受診勧奨など健康に関する予防・支援活動を行ってまいります。

また、「乳がんモデル」や「食事バランスカード」等の貸し出しも行い、受講終了後の支援も行っています。

なお、今年度も引き続き実施するとともに、新たに小学校 4 年生を対象とした「キッズ健康サポーター」事業として、市内 2 小学校（吹田第三小学校、千里たけみ小学校）で実施予定です。

3 すいた健康ポイント事業

市民が健康づくりに取り組む機会を広げる方策の一つとして、特定健診・がん検診の受診や健康講座への参加等をポイント化し、一定のポイントに達した市民に対し、特典として商品・サービスを付与します。

対象者は、市内在住の 40 歳以上の市民で、6 月 1 日(水)より、市内公共施設等に健康ポイントガイドブックを設置しました。

ポイント交換時期は、10 月と翌年 2 月を予定しています。

※ 吹田市健康ポイント事業については、別添しています。

4 がん検診等受診率の向上

健康すいた 21（第 2 次）において、平成 28 年度のがん検診目標受診率を設定し、受診率向上に取り組んでいます。これまでも個別案内による受診勧奨に努めていましたが、今年度は胃・肺・大腸がん検診及び 30 歳代健診について、年齢を大幅に拡大して周知します。また、胃がん検診については、受診率が低迷しており、来年度以降の検診会場や回数についてだけでなく、今後の検診の実施方法等も含めて検診のあり方について検討が必要です。また、協会けんぽの特定健診と胃がん・大腸がん検診の同時開催も実施し、職域との連携も行います。

5 成人歯科健康診査（75 歳以上）

後期高齢者を対象とした歯科健診に対し、平成 27 年度から広域連合による補助金がつくことになり、本市では歯科医師会と協議を重ね、今年度から成人歯科健康診査のなかで実施しています。本健診は高齢者の口腔機能低下や肺炎等の疾病を予防するため、口腔機能検査を実施しており、指導が必要な場合は、健診を実施した歯科医師による指導や口腔ケアセンター事業の紹介で対応することにしています。

6 B型肝炎予防接種の実施について

平成28年10月から予防接種法に基づきB型肝炎の予防接種が導入される予定です。9月定例会に提案し、円滑な実施ができるよう努めます。

7 妊娠・出産包括支援事業

(1) 妊娠届出時の妊婦全数面接の実施

平成28年4月から吹田版ネウボウの足掛かりとして、保健センター及び南千里分館に専任の保健師を配置し、すべての妊婦に保健師が面接を行い、妊娠・出産・子育てについての情報提供を行うとともに、心身に不調があるなど支援が必要な方に母子保健事業や子育て支援事業等の支援のコーディネートを行う体制の確保を行いました。

また、10月からは、今まで11か所の妊娠届出の窓口を、保健センター及び保健センター南千里分館に集約し、支援が必要な妊婦をより早期に把握、支援を開始していきます。本事業の円滑な実施に努めていきます。

(2) 産後ケア事業、産前産後サポート事業の検討

平成27年度に新生児訪問の際に実施した出産直後の母親が求める子育て支援等のニーズ調査では、母親が求める支援策として、「保健師や助産師の複数回の訪問」、「母乳や育児について、いつでも相談できる場所」、「生後間もない赤ちゃんを連れていけて母親同士が交流する場所」の他「赤ちゃんを数時間見てもらいお母さんがゆっくり休憩できる場所」、「タクシーチケット」、「家事の手伝い」等、多様な支援が求められていることがわかりました。このニーズ調査に基づき、吹田市の特性に合わせた、産後ケア事業や、産前・産後サポート事業の平成29年度以降の実施に向け検討していきます。